第 32 週−罪を覆う銀は、地上での神の権益と行動のために戦う軍隊を編成するためである

鳥瞰	神の意図は、軍隊へと編成された人々を得て、その軍隊が霊的戦いに従事し、地上で神の権益と行動の為に戦うことです。霊的戦いが必要であるのは、サタンの意志が神の意志に抵抗しているからです。霊的戦いの目的は、神の王国をもたらすことです。香壇において祈ることは、地上での神の行動のために戦う軍隊の編成のためです。このとりなしの祈りの結果は、神の民を数えて、軍隊を編成し、神の行動に反対する神の敵と戦うことです。わたしたちは神の軍隊として神の行動のために戦おうとするなら、20 歳以上のあらゆる男子は半シケルの銀を支払うべきであり、それは命の円熟において、神の建造と行動のために、罪を覆う銀としてのキリストを経験する必要があることを表徴しています。	
	真理要点	経験適用
1日	1．創世記第 2 章において見ることの出来る 3 つの意志に対して、わたしたちはどのよにすべきですか？ 2．神には至る所に敵がおり、行動する自由がありませんが、彼は召会がどのようであるべきだと願っていますか？	1．創世記第 2 章で、人は自分の意志を働かせて、命の木と善悪知識の木のどちらからでも食べる自由があったことを見ます。この二本の木は、それぞれ神の意志とサタンの意志を表しています。罪人は神の王国のために悔い改めるとき、サタンの側から神の側へ、すなわち神の王国へ、神のみこころ（意志）へ立ち返ります。 2．わたしたちは旧約聖書を読むとき、エジプトからカナンまで、神は至る所で敵を持っておられたのを見ることができます。すべての敵のゆえに、神には行動する自由がありません。神は戦って、彼のすべての敵を滅ぼさなければなりません。最終的に、エペソ人への手紙によれば、召会、神の民は戦士であり、血肉に敵対してではなく、空中の支配者たちや勢力に敵対して戦うべきです。
2日	1．何故、香壇について描写されたすぐ後に、人口調査と罪を覆う銀の事柄について言及されたのでしょうか？ 2．どのような人に神の軍隊となる資格がありますか？	1．神の選ばれた民は幕屋のすべての面を経験し、香壇に達して神の権益と彼の行動のためにとりなすに至らなければなりません。特に、神の民は主の軍隊、すなわち、地上での神の行動のために戦う軍隊の編成のために祈る必要があります。こういうわけで、人口調査と罪を覆う銀が、香壇の記述のすぐ後に述べられているのです。 2．出エジプト記第 30 章の時点でイスラエルの子たちの総数は、少なくとも 200 万人でした。しかし 3 分の 1 以下、正確には 60 万 3550 人が、神の軍隊となる資格がありました。神の民の 3 分の 2 以上、すべての女子と 20 歳未満の男子は、この軍事人口調査に数えられることができませんでした。
3日	1．どのような人が半シケルを支払う資格がありますか？ 2．神の行動のための軍隊とるために、わたしたちは何故円熟が必要なのでしょうか？	1．罪を覆う銀は、二十歳以上の男子によってのみ払われ得ました。これは、霊的に言って、わたしたちがみな成長する必要があることを示します。もしわたしたちが成長して二十歳に達することがないなら、資格づけられて軍隊へと徴兵され、地上での神の行動のために戦うことはないでしょう。わたしたちは「霊的に、二十歳を過ぎており、半シケルを払って神の軍隊に徴兵される資格があります」と言うことができるべきです。 2．わたしたちは成長して、二十歳という霊的年齢に達する必要があります。香壇でささげられるとりなしは、この成長と円熟のためであり、それによって軍隊が編成されることができます。香壇でのとりなしがあればあるほど、神の民が成長する緊急性はますます大きくなります。軍隊へと編成される資格を持つようになるため、わたしたちは円熟の必要が切迫したものであることを認識する必要があります。
4日	1．霊的戦争はどのように進行しますか？ 2．半シケルの意義とは何でしょうか？	1．霊的戦争の戦いは空中でなされます。このような戦いを戦うために、わたしたちは昇天したキリストと共に天上にいる必要があります。挙げるささげ物は昇天したキリストを表徴します。昇天においてキリストは彼の敵を打ち破ります。 2．挙げるささげ物としての罪を覆う銀は、昇天したキリストの予表です。わたしたちが半シケルを払うために、わたしたちのキリストの経験は最高点に、すなわち、彼と共に天上で座しているという点に到達しなければなりません。これはキリストの最高の経験です。わたしたちはそのようなキリストを経験して、半シケルとしての彼を持つ必要があります。
5日	1．香壇での祈りが、軍隊の編成のためであると言えるのは何故でしょうか？ 2．過越の小羊と罪を覆う銀の違いは何でしょうか？	1．香壇での祈りの結果として、主は召会で聖徒たちの軍事人口調査を行なわれます。ここやあそこで、神は彼の民を数えます。数えられる人は、資格づけられて戦争に行く人です。しかしながら、彼らは自分自身で戦うことができないことを認識しなければなりません。彼らは昇天した方としてのキリストを必要とします。彼らは、第三の天の御座の上におられるキリストを必要とします。 2．過越の小羊は、完全に、また絶対に贖いのためであり、すべての民が用いることができました。しかし贖いの代価の銀は、贖いと関係があり、神の軍隊へと編成される資格のある者たちに適用されました。仮に、神の選ばれた民のある者が二十歳未満で、贖いの代価の銀の半シケルを納めたかったとします。彼らは適齢以下で、まだ十分に円熟していなかったので、贖いの代価の銀を払う資格がありません。
6日	1．聖なる所と垂れ幕のための台座が銀で作られたことの意義は何ですか？ 2．出エジプト記第 30 章で払われている半シケルは、どのような働きがありますか？	1．出エジプト記第 38 章 27 節は、銀百タラントは聖なる所と垂れ幕のための台座を作るのに用いられたと告げています。幕屋全体は、これらの百個の銀の台座の上にとどまりました。この銀は、天上のキリストを表徴しており、それは戦いに行くことができる者たちが支払った代価です。あらゆる地方召会はこのキリストに望みを託します。それは戦いに行くことができる聖徒たちによって経験されたキリストです。 2．出エジプト記第 30 章の半シケルの支払いは一種の税金でした。この税金は、神に用いられて二つの事を達成しました。第一に、神はこの税金を用いて幕屋を建造するための銀を集めました。第二に、神はこの税金を用いて軍隊の編成を達成されました。ですから、半シケルの支払いという単一の事柄を通して、神は幕屋の建造と軍隊の編成のために事を行なわれました。
まとめ	ある面において神は何でも出来ますが、またある面において心の意図するままに事柄を行えません。何故なら至る所に敵がいるからです。神は人を創造しましたが、彼らに自由意志を与え、彼らに自由に選択する権利を与えました。神は地上において神の権益と行動のために戦うことの出来る人たちを得ることを願っておられます。香壇のとりなしの祈りによって、20 歳以上の男子で命において成長し、円熟したものが生み出されます。彼らは神の建造と行動のための軍隊として編成されるために、半シケルの銀を罪を覆う銀の挙げるささげものとしてささげます。これが表徴しているのは、彼らが昇天したキリストの中で、からだの中で霊的な戦いをすることです。	